

30年に一度の花 アオノリュウゼツラン開花

佐賀地区の土佐西南大規模公園内に、30年に一度開花すると言われている「アオノリュウゼツラン」が開花しました。

アオノリュウゼツランは、メキシコ原産のユリ目リュウゼツラン科の植物。数十年に一度だけ、長い花柱を出して開花の後、珠株をたくさん残し本株は枯死します。あまりの成長の遅さに開花まで100年かかると誤認されたことから、英語でセンチュリープラント「世紀の植物」という別名もあります。

約30年から50年に一度しか開花が見られない、とても珍しい花ですので、ぜひ一度見てみてはいかがでしょうか？



佐賀地区、土佐西南大規模公園の入り口付近の海側、国道56号からも見えます。

四万十市出身・井上淳哉さん 「BTOOOM!」続刊寄贈



これまでに寄贈された漫画は、大方あかつき館・入口左側の「ふれあいコーナー」にあります。ご自由にお読みください。

四万十市出身の漫画家・井上淳哉さんの人気作「BTOOOM!」。このたび、単行本の発行部数が累計300万部を突破しました。

井上さんのこれまでの作品は、「黒潮町の方にも読んでもらいたい」という井上さんの父・博之さんが、大方あかつき館に寄贈してくれています。6月には、昨年10月に降に発刊された16巻・17巻の寄贈を受けました。

8月3日から四万十市立中央公民館で開催の漫画フェス「しまんと漫博!」では、井上さんから四万十市ゆかりの漫画家の原画・イラストなどを展示。8日にはトークイベントとサイン会も行われます。

新しい「地域おこし協力隊」がやってきました!

黒潮町を盛り上げるために、7月1日、新しい地域おこし協力隊2人を採用しました。

地域おこし協力隊とは、都市地域などから町内へ移住し、地域の維持・活性化などに取り組む方で、黒潮町では平成26年4月から田口佳子さん(岡山市出身)が活動中。今回新たに、広報デザインを担当する土肥創さん(石川県金沢市出身)と、移住相談を担当する桑田めぐみさん(大阪市出身)が着任しました。3人になった地域おこし協力隊のメンバーを、どうぞよろしくお願ひします。

はじめまして。黒潮町の豊かな自然と美味しい食べ物、暖かい人に魅了され、今回、石川県金沢市から移住してきました。小学校から高校卒業までは室戸市に住んでいたこともあり、高知県とは縁があります。西部と東部では雰囲気もガラッと変わり、分からない土佐弁もたくさんありますが、見やすく、町内の様子が分かる広報を作っていけるように頑張りますので、よろしくお願ひします。載せてほしい記事などありましたら喜んで取材に伺いますので、どんどん教えてください。



地域おこし協力隊(平成27年7月1日着任)

ど ひ はじめ くわ た
土肥 創 桑田めぐみ
(広報デザイン担当) (移住相談担当)

【連絡先】総務課 企画振興係 ☎43-2177

地域おこし協力隊として大阪市から来た桑田です。移住相談を担当します。私自身黒潮町に移住してまだ1カ月、右も左も分かりませんが、地域の皆さんに1日も早く受け入れていただき、今後、移住を希望する方と地域の方双方がうきうきするような町づくりに少しでも貢献できるように取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。空き家を貸してもいい方がいましたらご連絡お待ちしております。